

令和5年度 第1回 真室川町総合教育会議 会議録

令和5年10月24日（火）午後2時00分より、真室川町役場3階301会議室において令和5年度第1回真室川町総合教育会議を開催した。

1. 出席者	町 長	新田 隆治
	教育長	門脇 昭
	委 員	遠田 且子
	委 員	山田 敏一
	委 員	鮭延三枝子
	委 員	中塚 聖子

2. 事務局出席者	教育課長	高橋 雅之
	指導主幹	早坂 真紀
	学校教育係	
	課長補佐	阿部 一彦
	生涯学習係	
	課長補佐	佐藤 正美
	子育て支援係	
	課長補佐	栗田 猛

3. 会議案件

報 告

第2次教育振興計画策定委員会の検討状況

協議・調整事項

学校給食の今後の方向について

保育料のあり方について

学童保育について

その他（中央公民館の立替について）

4. 会議の経過

教育課長 （第2次教育振興計画策定委員会の検討状況について説明）

来年度からの5年間の教育進行計画の策定に向けて、10名の委員を委嘱し、来月22日に第3回目の委員会を行う予定です。最終的には1月ぐらいに策定を終える予定です。これまで検討したところでは、シンプルで分かりやすいもので、概ね20ページぐらいの常に手に持って共有していけるようなものにしたいと考えています。教育委員の皆様には、策定委員会にオブザーバーとして出席していただいておりますので、引き続きよろしくお願いしたいと思います。

一 同 質問等なし

町 長 （学校給食の今後の方向について説明）

近年、学校給食を無償とする市町村（県内8市町村）が増えてきています。国としても無償とする方向はありますが、いつ何をどうやってというのは示されおりません。既に子育てについては、いろいろとやらせていただいておりますので、無償化もその一環として進めていきたいと思っています。特に子育ての中での学校給食は、金銭的、食育としても大きなウェイトを占めている部分であります。給食の質も落とさないようにこれからも自校給食を継続し、町内食材なども使いながら、食の大切さ、食の在り方を考えてもらえる給食を提供していきたいと考えます。

総務課長 （財政面について説明）

こういった経常的な費用については、一度始めたら後戻りができないので、慎重に検討しなければなりませんが、国や県の動向もありますので、限られた財政の中、最優先で取り組んでいきたいと思っています。

中塚委員 学校給食では大変助けられました。野菜など食べる子どもではないのだが、給食では完食してきたりしていました。お弁当ではバランスの良いものを作るのが大変なので、給食の存在とても大

きかったと感じます。伝承野菜など町内産の食材などもたくさん使っているので、外に出た時に自分の町の給食は質の高いものだったなと感じると思います。自校給食も続けていただけるということでとてもありがたく思います。

鮭延委員 子育て支援が充実していることは、町外の方を呼び込める政策としてもいいことだと思います。地産地消を進めることで、経済的にも地域で循環できるし、子どもたちの給食の食材を作ることによって、生産者さんたちのやる気にもなると思います。地元食材ということで、子どもたちの食への興味が育つのではないかと思います。無償化もいいことだと思います。

山田委員 無償化についてはとてもいい施策だと思います。自校給食、地産地消を進めこともとてもいいことだと思います。大手の業者が給食に入っていると現場が苦勞するので、今町でやっている給食のあり方は、ありがたいしいことだなと思います。子どもたちに愛着をもってもらうためにも大切なことだと思います。

遠田委員 保護者の方は、子どもに好きなものを食べさせたがるので、甘いものやわらかいものに偏っていくと、健康が阻害されたり、栄養的なことだけでなく骨格形成にも影響してくるので、学校給食を通じて食習慣の基本になる部分も育てられるのではないかなと思います。無償化が当たり前にならないように保護者にも子どもの食に責任や興味をもってもらいたい。子どもだけでなく保護者にも学べる場だということを自覚してほしいし、そういった場を続けていけるように総合的に取り組んでいかなければならないと思います。

町 長 今の栄養教諭や調理員は大変になると思います。例えば、学校で作った食材を使って調理をしたり、学校でバラバラのメニューにならないように工夫したり、あさひ小学校の考えたメニューを真室川小学校で食べるなどいろいろと考えても楽しいと思います。経常経費は増額すると思いますが、工夫をしながらやっていき

いということでご理解いただければと思います。広報についても分かりやすい名前で、無償化の背景がわかるような方法を教育課の方で考えていただきたいと思います。

町 長 (保育料のあり方について説明)

全国的な流れの中で（県内では3市町村）、子育て住宅などの支援もやってきていますが、学校給食と同様無償化としていきたいと思います。こども園との兼ね合いがありますので、その辺は担当の方でやっていただきたい。副食費や、給食の作っているところも違うが、こども園も同じようにしてしまうと、病院と業者が一緒のためそちらの兼ね合いも考えなければならい。タイミング的にも給食費と同じタイミングの方がいいのではないかと思います。

町 長 (学童保育について説明)

共稼ぎが増えている中、ワークライフバランス的にも必要となってきた。子どもの学習の時間など生活のけじめという役割もあると思うので、できれば給食と保育料3点セットで無償化として進めていければと思います。

町 長 (中央公民館の建替えについて説明)

町中活性化ということで、点在している町の施設を利用して活性化できないかと模索しておりました。今は中央公民館を候補施設として計画しております。町中活性化施設として荘内銀行も有力な候補地ではあったが、民間の方でほしい業者がありましたので、築50年たっていて経済効果もあるということでそちらに譲りました。現在の中央公民館は、アスベストを使っていることや、配管やトイレなど根本的なものを直さないといけないため、新築した額同じとなるため建替えしたいと考えています。議会の臨時会でも基本計画を策定するための委託料の予算を通していただきましたので、これから計画していく予定です。ご承知おきください。予算的には12億ぐらいとなっていますが、決定ではあ

りません。備品などを含めればそれ以上になると思います。金額的には確定ではないので注意していただきたい。

遠田委員 旧役場庁舎にあった資料はどうなったのか。例えば、昔話の資料や新町の道路の資料などはどうなったのか。将来に残していった方が良い資料などは残してほしい。真室川町は何もないと言われるが、いろんなものがあるんだってことが話を聞くと分かります。町で調査するのではなく歴史研究会や同好会的なもので調べてる資料はあるのではないかと思います。今どうこうというわけではないですが、そういったことにも光をあててはどうかと思います。職員の中にもそういう目が必要だと思います。

町 長 資料については、引越以前からなくなっているものが多々あると役場 OB から聞いております。なぜかというと行政文書とみなしていないということです。職員の感覚で将来大事なものになるとは思っていない場合が多いです。ただ、町史というものがありますが、次の作成時期に困るのではないかと思います。あとは、長老的な方から話を聞いたり、人しかいないのではないかと思います。

鮭延委員 郷野目ストア通りの道路の街路灯が暗いではないか。交通量も多くスピードを出す車も多いので危ないと感じます。

町 長 建設課に確認します。

教育課長 アスベストについては、現在は危険な濃度ではないので、使用できる状態となっています。ただ、地震等で壁が倒壊したり剥がれたりした場合は再調査が必要となります。

教育長 本日、無償化の話し3つありましたが、ただの無償化ではなくそこにはストーリーがあり価値づけがあります。おいしいふるさと給食でもただ豪華なものを出すのではなく、安全安心の食材を提供しながら、給食はある意味セーフティネットでもあるので、新しい時代の価値づけが求められているんだなと感じました。そんなことも進行計画の中で検討していきたいと思います。

会議録作成者 高橋 憲一郎

上記会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するため下記に署名する。

令和 年 月 日